平成22年第3回
利根町議会定例会会議録 第2号

平成22年9月3日 午前10時開議

1. 出席議員

1番	能登百合子君	9番	五十嵐辰雄君
2番	西村重之君	10番	会田瑞穂君
4番	守谷貞明君	11番	飯田勲君
5番	高橋一男君	12番	岩佐康三君
6番	中野敬江司君	13番	高木博文君
8番	今井利和君	14番	若泉昌寿君

1. 欠席議員

なし

1. 説明のため出席した者の氏名

町長	遠山務君
総務課長	飯田修君
企画財政課長	秋山幸男君
税務課長	鈴木弘一君
まちづくり推進課長	高野光司君
住民課長	木村克美君
福祉課長	師岡昌巳君
保健福祉センター所長	石塚稔君
環境対策課長	蓮沼均君
保険年金課長兼国保診療所事務長	矢口功君
経済課長	菅田哲夫君
都市建設課長	飯塚正夫君
会計課長	飯田美代子君
教育長	伊藤孝生君
学校教育課長	鬼沢俊一君
生涯学習課長	石井博美君
水道課長	福田茂君
監査委員	五十嵐弘君

1. 職務のため出席した者の氏名

書	記	雑賀正幸
書	記	飯田江理子

1. 議事日程

議 事 日 程 第 2 号

平成22年9月3日(金曜日)

午前10時開議

日程第1	議案第40号	平成22年度利根町一般会計補正予算(第3号)の専決処分について
日程第2	議案第41号	平成22年度利根町一般会計補正予算(第4号)の専決処分について
日程第3	議案第42号	平成22年度利根町水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分について
日程第4	議案第53号	平成21年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件
日程第5	議案第54号	平成21年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件
日程第6	議案第55号	平成21年度利根町老人保健特別会計歳入歳出決算認定の件
日程第7	議案第56号	平成21年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件
日程第8	議案第57号	平成21年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件
日程第9	議案第58号	平成21年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件
日程第10	議案第59号	平成21年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件
日程第11	議案第60号	平成21年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件
日程第12	議案第61号	平成21年度利根町水道事業会計決算認定の件
日程第13	休会の件	

1. 本日の会議に付した事件

日程第1	議案第40号
日程第2	議案第41号
日程第3	議案第42号
日程第4	議案第53号

日程第5 議案第54号
日程第6 議案第55号
日程第7 議案第56号
日程第8 議案第57号
日程第9 議案第58号
日程第10 議案第59号
日程第11 議案第60号
日程第12 議案第61号
日程第13 休会の件

午前10時00分開議

議長（若泉昌寿君） おはようございます。昨日に引き続きご苦労さまでございます。ただいまの出席議員は12名でございます。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

これから議事日程に入ります。

議長（若泉昌寿君） 日程第1、議案第40号 平成22年度利根町一般会計補正予算（第3号）の専決処分についてを議題といたします。

これから本案に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。

それでは、議案第40号 平成22年度利根町一般会計補正予算（第3号）の専決処分についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり承認することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（若泉昌寿君） 起立全員です。したがって、議案第40号は原案のとおり承認することに決定いたしました。

議長（若泉昌寿君） 日程第2、議案第41号 平成22年度利根町一般会計補正予算（第

4号)の専決処分についてを議題といたします。

これから本案に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長(若泉昌寿君) 異議なしと認めます。

それでは、議案第41号 平成22年度利根町一般会計補正予算(第4号)の専決処分についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり承認することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長(若泉昌寿君) 起立全員です。したがって、議案第41号は原案のとおり承認することに決定いたしました。

議長(若泉昌寿君) 日程第3、議案第42号 平成22年度利根町水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分についてを議題といたします。

これから本案に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

討論を打ち切ります。

これから採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長(若泉昌寿君) 異議なしと認めます。

それでは、議案第42号 平成22年度利根町水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり承認することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長(若泉昌寿君) 起立全員です。したがって、議案第42号は原案のとおり承認することに決定いたしました。

議長(若泉昌寿君) 日程第4、議案第53号 平成21年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件から日程第12、議案第61号 平成21年度利根町水道事業会計決算認定の件までの

9件を一括議題といたします。

この際、監査委員から審査意見の報告を求めます。

監査委員五十嵐 弘君。

〔監査委員五十嵐 弘君登壇〕

監査委員（五十嵐 弘君） 監査委員の五十嵐でございます。

決算審査の結果についてご報告申し上げます。

平成21年度利根町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算について、8月2日から4日までの3日間にわたり五十嵐辰雄監査委員とともに審査いたしましたので、代表してご報告申し上げます。

本件審査に当たりましては、町長より提出されました各会計の歳入歳出決算書及び水道事業会計の決算書に基づき、関係帳簿及び証拠書類などを照合するとともに、関係職員より説明を求め、審査を実施いたしました。

本件審査の結果は、審査に付された各会計の決算及び証拠書類、その他、法令で定める書類は、いずれも所定の様式に準拠して作成されており、かつその計数も関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、すべて正当なるものと認めましたので、ここにご報告申し上げます。

議長（若泉昌寿君） 審査意見の報告が終わりました。

これから、議案第53号 平成21年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件について概要説明を求めます。

会計管理者飯田美代子さん。

〔会計管理者飯田美代子君登壇〕

会計管理者（飯田美代子君） 議案第53号 平成21年度利根町一般会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

初めに、歳入についてご説明申し上げます。

まず、5ページをお開きください。

ページ下の歳入合計ですが、予算現額58億9,685万5,680円、調定額59億5,202万3,392円、収入済額57億4,512万9,250円でございます。予算現額に対する収入割合は97.43%、調定額に対する収入割合は96.52%でございます。また、不納欠損額は510億6,184円で、前ページの款1、3ページです。前ページの款1町税で表示されているとおりでございます。収入未済額は2億178万7,958円で、その内訳としまして、款1町税で1億6,464万8,952円で、款11分担金及び負担金の130万7,460円、款19諸収入、項4貸付金元利収入3,583万1,546円でございます。また、収入済額は、前年度に比べ2億8,346万8,802円の増額でございます。

続きまして、3ページでございます。

款1町税でございます。予算現額15億7,921万4,000円に対し、収入済額15億9,412

万7,723円で、合計収入済額の27.75%を占め、前年度に比べ7,226万350円の減額でございます。町税につきましては景気の低迷による所得の減、固定資産税につきましては地価の下落による減が主な理由でございます。

款2 地方譲与税でございます。予算現額1億651万3,000円に対し、収入済額1億651万3,562円で、合計収入済額の1.85%を占め、前年度に比べ733万7,438円の減額でございます。減額の理由としまして、国の徴収額の減収によるものでございます。

款3 利子割交付金でございます。予算現額848万円、収入済額も同額でございます。合計収入済額の0.15%を占め、前年度に比べ238万9,000円の減額でございます。減額の理由としまして、県利子割収入の減収によるものでございます。

款4 配当割交付金でございます。予算現額273万2,000円、収入済額も同額でございます。合計収入済額の0.05%を占め、前年度に比べ104万4,000円の減額でございます。減額の理由としまして、上場株式等の配当の減収によるものでございます。

款5 株式等譲渡所得割交付金でございます。予算現額152万9,000円、収入済額も同額でございます。合計収入済額の0.03%を占め、前年度に比べ16万6,000円の減額でございます。減額の理由としまして、株式の譲渡益等に課税される県税の減収によるものでございます。

款6 地方消費税交付金でございます。予算現額1億1,705万4,000円、収入済額も同額でございます。合計収入済額の2.04%を占め、前年度に比べ535万7,000円の増額でございます。増額の主な理由としまして、県が徴収する地方消費税の増収によるものでございます。

款7 自動車取得税交付金でございます。予算現額2,687万3,000円、収入済額も同額でございます。合計収入済額の0.47%を占め、前年度に比べ2,093万2,000円の減額でございます。減額の主な理由としまして、県が徴収する自動車取得税の減収によるものでございます。

款8 地方特別交付金でございます。予算現額2,402万1,000円、収入済額も同額でございます。合計収入済額の0.42%を占め、前年度に比べ237万8,000円の増額でございます。

款9 地方交付税でございます。予算現額15億4,445万9,000円、収入済額も同額でございます。合計収入済額の26.88%を占め、前年度に比べ828万7,000円の減額でございます。減額の理由としまして、地方債の償還の減額によるものでございます。

款10 交通安全対策特別交付金でございます。予算現額313万7,000円に対し、収入済額297万4,000円で、合計収入済額の0.05%を占め、前年度に比べ14万2,000円の減額でございます。ほぼ例年どおりの交付となっております。

款11 分担金及び負担金でございます。予算現額4,776万4,000円に対し、収入済額4,536万4,050円で、合計収入済額の0.79%を占め、前年度に比べ86万7,970円の増額でございます。増額の理由としまして、保育園入所児の増と保育料の滞納分の収入増によるものでございます。

款12使用料及び手数料でございます。予算現額4,304万9,000円に対し、収入済額4,187万4,995円で、合計収入済額の0.73%を占め、前年度に比べ69万165円の減額でございます。減額の理由としまして、主に公共施設の使用料、ごみ袋の販売手数料の減収によるものでございます。

続きまして、5ページをお開きください。

款13国庫支出金でございます。予算現額10億2,153万6,466円に対し、収入済額8億6,126万3,413円で、合計収入済額の14.99%を占め、前年度に比べ5億3,180万5,194円の増額でございます。増額の理由としまして、経済対策交付金、定額給付金事業費補助金などによる増額でございます。

款14県支出金でございます。予算現額2億7,789万6,000円に対し、収入済額2億6,898万1,309円で、合計収入済額の4.68%を占め、前年度に比べ4,775万8,019円の増額でございます。増額の理由としまして、市町村グリーンニューディール補助金、緊急雇用創出事業費負担金及び選挙執行のための委託金などによるものでございます。

款15財産収入でございます。予算現額3,258万2,000円に対し、収入済額3,328万33円で、合計収入済額の0.58%を占め、前年度に比べ2,639万1,707円の増額でございます。増額の理由としまして、町有地の売り払いに伴う増収でございます。

款16寄附金でございます。予算現額14万2,000円に対し、収入済額14万円で、合計収入済額の0.002%を占め、前年度に比べ15万4,365円の減額でございます。減額の理由といたしまして、がんばる利根町応援寄附金のみの収入でございます。

款17繰入金でございます。予算現額4億2,573万2,000円に対し、収入済額4億2,573万1,161円で、合計収入済額の7.41%を占め、前年度に比べ3億7,452万8,458円の減額でございます。減額の理由としまして、特定目的基金と整理統合がなかったことによるものでございます。

款18繰越金でございます。予算現額1億8,435万9,214円に対し、収入済額1億8,436万193円で、合計収入済額の3.21%を占め、前年度に比べ1,381万1,357円の増額でございます。増額の理由としまして経費節減等によるものでございます。

款19諸収入でございます。予算現額8,789万4,000円に対し、収入済額9,858万1,811円で、合計収入済額の1.72%を占め、前年度に比べ770万6,331円の増額になっておりますが、税収入に伴う延滞金、加算金等の収入によるものでございます。

款20町債でございます。予算現額3億6,188万9,000円に対し、収入済額3億5,678万9,000円で、合計収入済額の6.21%を占め、前年度に比べ1億3,532万4,000円の増額でございます。増額の理由としまして、行革により歳出の見直しを行ったためでございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

9ページをお願いいたします。

中ごろです。歳出合計欄の予算現額58億9,685万5,680円に対し、支出済額54億6,436

万8,083円、執行率は92.67%でございます。翌年度繰越額は1億8,175万1,800円でございます。また、不用額は2億5,073万5,797円でございます。前年度に比べ支出済額は1億8,706万7,828円の増額でございます。

続きまして、歳出、7ページにお戻りください。

この低執行率の主な理由としまして、款3民生費、項2児童福祉費の63万円、款7土木費、項2道路橋梁費の1億5,560万円、款8消防費、項1消防費の849万5,000円、款9教育費1,702万6,800円、内訳としまして項2小学校費の1,211万1,153円、項3中学校費の468万5,312円、項4社会教育費の23万335円の翌年度繰越額によるものでございます。

それでは、款1議会費でございます。予算現額9,053万2,000円に対し、支出済額8,662万1,974円で、執行率は95.68%でございます。不用額は391万26円でございます。不用額の主な理由としまして、議事録、議会録音テープの委託が安価でできたためでございます。

款2総務費でございます。予算現額10億8,431万2,744円に対し、支出済額10億4,572万3,656円で、執行率は96.44%でございます。不用額は3,858万9,088円でございます。不用額の主な理由としまして、定額給付金の支給残金及び「広報とね」印刷製本費の契約差金があったためでございます。

款3民生費でございます。予算現額11億9,917万8,936円に対し、支出済額11億7,226万1,355円で、執行率は97.76%でございます。不用額は2,628万7,581円でございます。不用額の主な理由としまして、項1社会福祉費の中の社会福祉総務費の扶助費、医療福祉費の扶助費等で、障害福祉サービス事業の福祉サービスの利用者が見込みより少なかったこと、医療給付費給付該当者の減によるものでございます。また、翌年度繰越金として、項2児童福祉費の63万円、平成22年4月施行の子ども手当システム導入業務委託費でございます。

款4衛生費でございます。予算現額6億8,452万円に対し、支出済額6億5,761万7,288円で、執行率は96.07%でございます。不用額は2,690万2,712円でございます。不用額の理由としましては、主に委託料で項1保健衛生費の1,795万6,035円と項2清掃費の894万6,677円でございます。この項1保健衛生費では町民健康診断等委託料及び新型インフルエンザ予防接種等見込み者数の減によるものと、項2清掃費ではごみ収集量と資源回収量が見込みより少なかったためでございます。

款5農林水産業費でございます。予算現額2億2,976万4,000円に対し、支出済額2億2,559万704円で、執行率は98.18%でございます。不用額は417万3,296円でございます。不用額の主な理由としまして、生産調整推進対策事業における生産調整の面積が少なかったためなどでございます。

款6商工費でございます。予算現額2,474万8,000円に対し、支出済額2,185万5,729円で、執行率は88.31%でございます。不用額は289万2,271円でございます。不用額の主な理由としまして、中小企業事業資金信用保証料補給金の申請が少なかったためでございます。

款7土木費でございます。予算現額8億4,551万円に対し、支出済額5億9,614万7,027円で、執行率は70.51%でございます。翌年度繰越額1億5,560万円、不用額は9,376万2,973円でございます。不用額の主な理由としまして、項2道路橋梁費の2,886万6,635円の道路法線計画変更に伴うものと、項3河川費の5,266万2,139円のスーパー堤防の移転補償費及び用地買収の未執行などがございます。

款8消防費でございます。予算現額3億3,931万4,000円に対し、支出済額3億2,432万3,641円で、執行率は95.58%でございます。翌年度繰越額849万5,000円、不用額649万5,359円でございます。不用額の主な理由としまして、稲敷広域の負担金変更による減額、また修繕費、工事費等の残によるものでございます。

款9教育費でございます。予算現額6億8,371万円に対し、支出済額6億2,388万7,167円で、執行率は91.3%でございます。翌年度繰越額1,702万6,800円で、これは学校情報通信技術環境整備事業で実施いたしましたデジタルテレビ購入及び公務用パソコン購入事業を翌年度に繰り越したものでございます。なお、不用額は4,279万6,033円でございます。不用額の主な理由としまして、安全・安心な学校づくり交付金事業の工事費等の契約差金及び学校情報通信技術環境整備事業の備品購入の契約差金、小中学校光熱水費が節約できたことによる残でございます。

次に、9ページをお開きください。

款10公債費でございます。予算現額5億5,037万9,000円に対し、支出済額5億5,036万9,542円で、執行率は99.99%、不用額は9,458円でございます。ほぼ例年どおりの支出でございます。

款11諸支出金でございます。予算現額1億5,997万円、支出済額も同額でございます。

款12予備費でございます。予算現額491万7,000円、支出済額はございません。

それでは、249ページをお願いいたします。

一般会計実質収支に関する調書についてご説明申し上げます。

歳出総額59億4,512万9,250円に対しまして……。

〔発言する者あり〕

会計管理者（飯田美代子君）失礼いたしました。歳入総額57億4,512万9,250円に対しまして、歳出総額54億6,436万8,083円でございます。差し引き額2億8,076万1,167円でございます。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源の計といたしまして7,261万1,800円でございます。つきまして、実質収支額は2億814万9,367円でございます。

以上で、一般会計歳入歳出決算の概要説明を終わります。

〔発言する者あり〕

会計管理者（飯田美代子君）失礼いたしました。歳入合計の欄の不納欠損額が510万6,184円の訂正でさせていただきます。失礼申し上げます。

議長（若泉昌寿君） 説明が終わりました。

続いて、議案第54号 平成21年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件から議案第61号 平成21年度利根町水道事業会計決算認定の件までの8件について、各所管課長から概要説明を求めます。

それでは、議案第54号及び議案第55号について、保険年金課長矢口 功君。

〔保険年金課長兼国保診療所事務長矢口 功君登壇〕

保険年金課長兼国保診療所事務長（矢口 功君） それでは、議案第54号 平成21年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件につきまして補足してご説明申し上げます。

初めに、事業勘定からご説明いたします。

252ページ、253ページをお開き願いたいと思います。

最初に、国民健康保険の概要について申し上げます。

平成21年度末の国保加入者数でございますけれども、6,180人で前年度と比較しまして112人の増でございます。このうち、一般被保険者が5,777人、退職被保険者が403人となっております。世帯数でございますけれども3,248世帯、前年度と比較しまして107世帯の増となっております。

また、平成21年度中に後期高齢者医療制度に移行した被保険者数につきましては156人となっております。

それでは、歳入からご説明いたします。

款1国民健康保険税でございますけれども、予算現額5億9,093万8,000円に対しまして、調定額8億943万5,374円、収入済額6億3,127万7,985円となっております。収納率でございますけれども78.0%、前年度と比較しまして1.4ポイントの減、また、現年度の収納率でございますけれども91.9%で、0.3ポイントの減となっております。また、収入未済額は1億7,815万7,389円でございます。収入済額は、前年度と比較いたしますと67万1,236円の減額、率にしまして0.1%の減でございます。ほぼ前年並みの収入済額となっております。これは、退職被保険者の減によるものでございまして、対象者が75歳未満から65歳未満に変わったことに伴いまして、退職被保険者から一般被保険者に移行したことによるものでございます。

続きまして、款2使用料及び手数料でございます。予算現額17万3,000円に対しまして、調定額、収入済額とも20万7,650円となっております。前年度とほぼ同様の収入済額となっております。これは国民健康保険税の納税証明手数料の収入増でございます。

次に、款3国庫支出金でございます。予算現額4億7,338万5,000円に対しまして、調定額、収入済額とも4億3,482万8,978円となっております。前年度と比較いたしますと3,088万201円の増額、率にしまして7.6%の増となっております。こちらにつきましては、一般被保険者の療養給付費等負担金の増及び普通調整交付金の増で、いずれも医療費

の伸びによるものでございます。

款4療養給付費交付金につきましては、予算現額1億2,620万1,000円に対しまして、調定額、収入済額とも1億1,814万1,006円となっております。前年度と比較しますと7,947万6,972円の減額、率にしまして40.2%の減となっております。これは、退職被保険者の医療給付費分の50%が社会保険診療報酬支払基金から交付されるものでございますけれども、こちらにつきましても退職被保険者が一般被保険者に移行したため、これに伴う医療給付費の減によるものでございます。

続きまして、款5前期高齢者交付金につきましては、予算現額3億7,426万3,000円に対しまして、調定額、収入済額とも3億7,426万3,999円、前年度と比較しますと5,476万1,918円の増、率にしまして17.1%の増となっております。こちらにつきましては、医療制度改革によりまして、65歳から74歳までの前期高齢者の保険者間の負担の不均衡各保険者で行うものでございますけれども、その加入者に応じて財政調整をするための交付金でございまして、前期高齢者の該当者の増によるものでございます。

続きまして、款6県支出金は、予算現額8,212万1,000円に対しまして、調定額、収入済額とも8,894万2,882円となっております。前年度と比較しますと691万1,680円の増額、率にしまして8.4%の増となっております。こちらにつきましては、高額医療費共同事業負担金及び県調整交付金の増でございまして、一般被保険者にかかわる療養給付費の増によるものでございます。

続きまして、款7高額医療費共同事業交付金につきましては、予算現額1億8,606万4,000円に対しまして、調定額、収入済額とも1億8,626万6,086円となっております。前年度と比較しますと2,371万983円の増額でございまして、率にしまして14.6%の増となっております。これは、保険財政共同安定化事業交付金の増でございまして、高額療養費の増によるものでございます。

款8繰入金でございます。予算現額9,769万2,000円に対しまして、調定額、収入済額とも9,769万372円となっております。前年度と比較しますと5,061万3,602円の減、率にしまして34.1%の減となっております。こちらにつきましては、財政調整基金繰入金の減でございまして、平成21年度におきましては、一般会計からの繰入金のみでの収入でございまして、財政調整基金からの繰入金がなかったことによる減でございます。

次に、款9繰越金でございます。予算現額1億5,350万1,000円に対しまして、調定額、収入済額とも1億5,350万1,291円となっております。前年度と比較しますと8,992万8,183円の増額、率にしまして141.5%の増となっております。これは前年度からの繰越金でございます。

款10諸収入につきましては、予算現額164万5,000円に対しまして、調定額、収入済額とも1,246万320円となっております。前年度と比較しますと638万3,684円の増額、率にしまして105.1%の増となっております。これにつきましては、一般被保険者第三者納付

金の増でございまして、いわゆる第三者行為等の原因者からの負担金の増によるものでございます。

款11介護従事者処遇改善臨時特例交付金につきましては、予算現額195万7,000円に対しまして、調定額、収入済額とも195万7,316円となっております。前年度と比較しますと皆増でございまして、これは、介護報酬の改正によりまして介護保険料の上昇を抑制するための交付金でございまして。

一番下になりますが、歳入合計は予算現額20億8,794万円に対しまして、調定額22億7,769万5,274円、収入済額につきましては20億9,953万7,885円となっております。前年度と比較しますと8,377万2,655円の増額、率にしまして4.2%の増となっております。

続きまして、次の254ページ、255ページをお願いいたします。

歳出につきましてご説明申し上げます。

款1総務費でございましてけれども、予算現額4,721万4,000円に対しまして、支出済額は4,514万5,026円でございます。前年度と比較しますと141万5,308円の減額、率にしまして3.0%の減でございます。こちらの科目につきましては、職員の人件費及び事務費、国保連合会負担金、また国保運営協議会等の経費を支出しているものでございまして、減額の主なものは人件費の減によるものでございます。

次に、款2保険給付費は、予算現額13億424万円の予算に対しまして、支出済額は12億6,617万7,540円でございます。前年度と比較いたしますと1億319万5,932円の増額、率にしまして8.9%の増となっております。これは、一般被保険者にかかわる療養給付費及び療養費並びに高額療養費の増によるものでございます。

款3後期高齢者支援金等につきましては、予算現額2億6,761万1,000円の予算に対しまして、支出済額は2億6,759万7,206円となっております。前年度と比較しますと2,767万2,522円の増額でございまして、率にしまして11.5%の増でございます。これは、国保加入の被保険者が後期高齢者医療制度にかかわる医療費負担分を納付するもので、負担金の増によるものでございます。

款4前期高齢者納付金等は、予算現額77万5,000円に対しまして、支出済額は76万884円で、前年度と比較しますと43万7,825円の増額でございます。率にしまして135.5%の増となっております。これは、歳入でも申し上げましたけれども、保険者間の不均衡を調整するための納付金でございまして、国保加入者の前期高齢者にかかわります医療費負担分を納付する負担金の増でございます。

款5老人保健拠出金でございまして。予算現額3,660万2,000円に対しまして、支出済額は3,658万7,211円で、前年度と比較いたしますと5,017万7,224円の減額でございます。率にしまして57.8%の減でございます。これは、老人保健の医療費にかかわる保険者負担分の拠出金でございまして、平成19年度の精算分でございます。いわゆる老人医療費の減によるものでございます。

款6 介護納付金でございます。予算額は1億1,313万4,000円に對しまして、支出済額は1億1,313万3,410円で、前年度と比較しますと925万8,150円の減額、率にしまして7.6%の減であります。これは、介護保険第2号被保険者分にかかわる介護給付費納付金でございます。国保加入者の減によるものでございます。

款7 共同事業拠出金でございますけれども、予算現額1億8,418万1,000円に對しまして、支出済額は1億8,417万7,778円となっております。前年度と比較いたしますと2,721万4,044円の増額で、率にしまして17.3%の増となっております。これは、保険財政共同安定化事業拠出金の増でございます。高額療養費の増によるものでございます。

款8 保険事業費でございます。予算額2,103万5,000円に對しまして、支出済額は1,607万8,364円でございます。前年度と比較しますと181万911円の減額、率にしまして10.1%の減となっております。これは、人間ドック及び脳ドックにかかわる委託料の減でございます。平成21年度からは、人間ドック及び脳ドックの際に行われる特定健診の基本項目及び詳細項目につきましては、特定健診の委託料から支出したことに伴う減でございます。

款9 基金積立金でございます。予算現額7,688万2,000円に對しまして、支出済額も同額の7,688万2,000円でございます。前年度と比較しますと5,369万2,000円の増額、率にしまして231.5%と大きな増となっております。これは、国保財政調整基金への積立金の増でございます。

款10 諸支出金でございます。予算現額1,283万1,000円に對しまして、支出済額は1,138万5,377円でございます。前年度と比較しますと611万127円の増額でございます。率にしまして115.8%の増となっております。これは、一般被保険者にかかわる保険税の還付金及び平成20年度の国庫支出金等の精算に伴います返還金の増となっております。

次のページをお願いします。

歳出合計の予算現額20億8,794万円に對しまして、支出済額は20億1,792万4,796円でございます。執行率は96.6%でございます。前年度と比較しますと1億5,566万860円の増額、率にしまして8.4%の増となっております。

歳入総額から歳出総額を差し引いた8,161万3,089円につきましては、翌年度に繰り越しとなるものでございます。

事業勘定につきましては以上でございます。

続きまして、施設勘定につきましてはご説明申し上げます。

285ページ、286ページをお開き願いたいと思います。

歳入でございますけれども、款1 診療収入につきましては、予算現額8,732万3,000円に對しまして、調定額並びに収入済額は9,795万5,927円となっております。前年度と比較いたしますと335万624円の減額、率にしまして3.3%の減となっております。これは、診療報酬収入でございます。ご承知のとおり昨年11月から患者に処方します薬剤をすべ

て院外処方にかえられたことに伴います薬価分の診療報酬の減でございます。

款2 介護サービス収入でございます。予算現額162万1,000円に対しまして、調定額、収入済額とも194万1,000円でございます。前年度と比較しますと7万6,000円の減額、率にしまして3.8%の減となっております。こちらにつきましては、介護保険利用者からの収入でございまして、居宅療養の管理指導にかかわる居宅介護サービス収入の減でございます。

次に、款3 使用料及び手数料でございます。予算現額38万1,000円に対しまして、調定額及び収入済額とも49万7,750円となっております。前年度と比較しますと4万750円の増額、率にしまして8.9%の増となっております。これは、施設の貸し付けに対する使用料でございまして、取手医師会が運営しております訪問介護ステーションひまわりからの施設使用料でございまして、21年度から有償にしたことに伴いましての増でございます。

続きまして、款4 繰入金でございまして、予算現額62万2,000円に対しまして、調定額、収入済額とも62万1,000円でございます。前年度と比較しますと169万6,000円の減額、率にしまして73.2%の減でございます。こちらにつきましては財政調整基金からの繰入金の減でございまして、平成21年度におきましては、一般会計からの繰入金のみで、財政調整基金からの繰入金がなかったことによる減でございます。

次に、款5 繰越金でございます。予算現額2,115万1,000円に対しまして、調定額、収入済額とも2,115万1,889円でございます。前年度と比較しますと474万3,337円の増額、率にしまして28.9%の増となっております。こちらは前年度からの繰越金でございます。

款6 諸収入でございます。予算現額436万1,000円に対しまして、調定額、収入済額とも660万5,323円でございます。前年度と比較しますと106万4,607円の増額でございまして、率にしまして19.2%の増となっております。これは、新型インフルエンザによる個人予防接種料等の増によるものでございます。

一番下になりますが、歳入合計でございます。予算現額1億1,545万9,000円に対しまして、調定額、収入済額とも1億2,877万2,889円となっております。前年度と比較しますと72万6,070円の増額でございまして、率にしまして0.6%の増となっております。

次の287ページ、288ページをお開き願いたいと思います。

続きまして、歳出につきましてご説明申し上げます。

款1 総務費でございますけれども、予算現額7,838万4,000円に対しまして、支出済額は7,095万299円となっております。前年度と比較しますと405万1,316円の増額でございまして、率にしまして6.1%の増となっております。この科目につきましては、職員の人件費、事務経費、診療に必要となります経費及び施設の維持管理等でございまして、主な増の理由としましては、臨時医師及び看護師の雇人料及び診療所事務費の業務委託料の増でございます。

続きまして、款2 医業費でございます。予算現額2,493万2,000円に対しまして、支出済

額は2,254万2,401円でございます。前年度と比較いたしますと924万9,546円の減額、率にしまして29.1%の減となっております。これは、医薬材料費の減によるものでございまして、歳入でも申し上げましたとおり、昨年11月から院外処方にかえられたことによる薬剤購入費の減によるものでございます。

次の款3基金積立金でございます。予算現額1,123万8,000円に対しまして、支出済額1,123万8,000円、同額となっております。前年度と比較しますと303万4,000円の増額、率にしまして37.0%の増となっております。これは、財政調整基金の積み立てによる増でございます。

一番下になります。歳出合計でございますけれども、予算現額1億1,545万9,000円に対しまして、支出済額は1億473万700円でございます。執行率は90.7%でございます。前年度と比較しますと216万4,230円の減額、率にしまして2.0%の減でございます。

また、歳入総額から歳出総額を差し引きました2,404万2,189円につきましては、翌年度への繰り越しとなるものでございます。

以上が、施設勘定につきましてでございます。

続きまして、議案第55号 平成21年度利根町老人保健特別会計歳入歳出決算認定の件についてご説明申し上げます。

飛びまして、304ページ、305ページをお願いしたいと思います。

最初に、概要について申し上げます。

老人保健制度につきましては、平成20年4月から後期高齢者医療制度としたことに伴いまして、平成21年度の決算の概要につきましては、平成20年度の精算金及び平成21年2月、3月診療分の医療費に対する決算となっております。歳入歳出いずれも大幅な減額となっております。

それでは、歳入につきましてご説明申し上げます。

款1支払基金交付金でございます。これは、老人保健の医療給付費の50%が社会保険診療報酬支払基金から交付されるものでございますけれども、後期高齢者医療制度への移行に伴いまして当会計からの医療費の支払いがなくなったこと、また、平成21年度及び22年度の老人保健医療費にかかわります同支払基金からの交付金につきましては、平成22年度に精算ということから収入済額はございません。前年度と比較しますと8,138万8,169円の減額ということで皆減となっております。

次に、款2国庫支出金で、収入済額は639万4,091円となっております。前年度と比較いたしますと5,019万4,724円の減額でございます。率にしまして88.7%の減となっております。こちらにつきましては、老人保健の医療給付費の約33.33%が公的負担金として国から交付されるものでございます。今回の収入済額につきましては過年度分でございます。平成20年度の老人医療給付費の精算分でございます。こちらにつきましても、後期高齢者医療制度への移行に伴いまして当会計からの医療費の支払いがなくなったことによ

る減額でございます。

款3 県支出金でございます。収入済額は20万1,000円となっております。前年度と比較いたしますと1,304万5,467円の減額となっております。率にしまして98.5%の減となっております。こちらにつきましても、老人保健の医療給付費の8.33%が公的負担金として県から交付されるものでございますけれども、内容につきましては国庫支出金と同様でございます。

款4 繰入金でございます。収入済額は5万6,000円となっております。前年度と比較しますと1,776万4,000円の減、率にしまして99.7%の減となっております。こちらにつきましては、一般会計からの繰入金の減でございます。老人保健の医療給付費の町負担分として8.34%が公的負担金になるわけでございますけれども、こちらにつきましても一般会計からの繰入金の減でございます。

款5 繰越金でございます。収入済額につきましては2,904万3,251円となっております。前年度と比較いたしますと392万2,185円の減額、率にしまして11.9%の減となっております。こちらは前年度からの繰越金でございます。

款6 諸収入でございます。収入済額は75万9,543円となっております。前年度と比較しまして155万2,359円の減額、率にしまして67.1%の減となっております。こちらにつきましては、雑入の中の第三者納付金の減でございます。原因者からの負担金の減によるものでございます。

一番下になります。歳入合計の収入済額につきましては、3,645万3,885円となっております。前年度と比較いたしますと1億6,786万6,904円の減、率にいたしまして82.2%の減となっております。

次は、306ページ、307ページをお願いいたします。

歳出でございます。

款1 医療諸費でございますが、支出済額は3,378円となっております。前年度と比較しますと1億2,652万6,821円の減、率にしまして99.9%の減という状況でございます。こちらにつきましては、老人保健の医療給付費の減によるものでございまして、後期高齢者医療制度に移行しましての医療費の支払いがなかったことによります減でございます。21年度にあっては過誤調整分のみの支出となったものでございます。

款2 諸支出金でございます。支出済額は2,904万3,251円でございます。前年度と比較しますと1,970万4,088円の減額でございます。率にしまして40.4%の減という状況でございます。これは、平成20年度の老人保健の精算に伴いましての一般会計への繰出金の減によるものでございます。

歳出合計の支出済額は2,904万6,629円となっております。前年度と比較しますと1億4,623万909円の減でございます。率にしまして83.4%の減でございます。

歳入総額から歳出総額を差し引いた740万7,256円につきましては、翌年度へ繰り越しと

なるものでございます。

老人保健特別会計につきましては以上でございます。

議長（若泉昌寿君） 暫時休憩します。

再開を11時20分とします。

午前 1 1 時 1 2 分休憩

午前 1 1 時 2 0 分開議

議長（若泉昌寿君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

次に、議案第56号について、都市建設課長飯塚正夫君。

〔都市建設課長飯塚正夫君登壇〕

都市建設課長（飯塚正夫君） それでは、議案第56号 平成21年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件について説明いたします。

315、316ページをお願いいたします。

初めに、歳入でございますが、主なものをご説明いたします。

款 1 分担金及び負担金で、収入済額831万8,056円であります。これは、受益者負担金及び龍ヶ崎市から下水道維持管理負担金でございます。

款 2 使用料及び手数料ですが、収入済額 1 億8,002万9,000、8,588円で……。

〔発言する者あり〕

都市建設課長（飯塚正夫君） そうですね。申しわけございません。1億8,029万8,588円で、679万4,086円の不納欠損をいたしております。収納率は88%で、昨年並みとなっております。

款 3 国庫支出金から款 7 町債までは、前年と同様の収入と調定どおりの収入済額となっております。

次に、317、318ページをお開きください。

歳出でございますけれども、款 1 下水道費の支出済額は 2 億1,055万421円であります。翌年度繰越額が8,209万9,000円であります。これは、早尾台と羽根野台の間にあります水路工事費といたしまして繰り越したものと、流域下水道への建設負担金が主なものでございます。

款 2 公債費は、予算現額どおりとなっております。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第57号について、環境対策課長蓮沼 均君。

〔環境対策課長蓮沼 均君登壇〕

環境対策課長（蓮沼 均君） 議案第57号 平成21年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件についてご説明いたします。

338ページをお開き願います。

歳入についてご説明いたします。

款 1 使用料及び手数料でございますが、予算現額488万6,000円で、収入済額は805万8,393円でございます。収納率は165%でございます。この理由としましては、永代使用料の増でございます。前年度と比較しまして172万9,630円の減額となっております。この減額は永代使用料でございます。平成20年度において14区画が返還され、平成21年度においては9区画が返還されておまして、その販売された永代使用料の差でございます。

続きまして、款 2 繰越金でございますが、収入済額としまして150万8,533円でございます。これは前年度の繰越金でございます。

続きまして、款 3 繰入金でございますが、収入済額としまして80万8,000円となっております。これは、財政調整基金より繰り入れてございます。

340ページをお開き願います。

次に、歳出についてご説明いたします。

款 1 霊園事業費、項 1 事業費でございますが、予算現額が710万3,000円で、支出済額が640万3,514円でございます。執行率は90.15%でございます。この理由としましては、償還金等の支払いがなかったためでございます。この事業は、霊園の維持管理費でございます。前年度と比較しまして681万2,454円の減額となっております。これは、財政調整基金の積み立ての差でございます。

歳入合計より歳出合計を差し引いた397万1,412円につきましては、翌年度へ繰り越しいたします。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第58号について、福祉課長師岡昌巳君。

〔福祉課長師岡昌巳君登壇〕

福祉課長（師岡昌巳君） それでは、議案第58号 平成21年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件について補足してご説明申し上げます。

349ページ、350ページをお開き願います。

初めに、平成21年度末の介護事業の概要でございますが、第 1 号被保険者数は4,842名、介護認定者数は546名となっております。

歳入でございますが、まず、款 1 介護保険料、これは65歳以上の第 1 号被保険者の保険料でございます。予算現額 1 億7,892万円、調定額が 1 億8,862万9,700円、収入済額が 1 億8,352万6,500円、収納率97.29%で、前年度と比較いたしますと3,067万7,400円の減額でございます。これは、第 3 期に比へまして第 4 期の保険料が低くなったためでございます。収入未済額が510万3,200円でございますが、うち第 1 号被保険者の普通徴収現年度分189万9,600円、滞納繰越分が369万2,500円となっております。

款 2 使用料及び手数料につきましては、調定どおりの収入となっております。

款 3 国庫支出金、項 1 国庫負担金につきましては、予算現額 1 億5,527万5,000円、調定額 1 億4,627万5,509円、収入済額同額でございます。この負担金は、介護給付費の20%、施設分につきましては15%の割合で負担されたものでございます。次の項 2 国庫補助金は、

予算現額5,091万7,000円、調定額、収入済額とも1,708万1,300円でございます。この調整交付金につきましては、介護給付費の基準交付率1.17%及び地域支援事業交付金等が国から交付されたものでございます。

款4 支払基金交付金、予算現額2億5,553万6,000円、調定額2億4,460万3,000円で、収入済額同額でございます。介護給付費の30%の割合で交付されたものでございます。

款5 県支出金、項1 県負担金は、予算現額1億2,046万円、調定額、収入済額とも1億1,625万5,000円でございます。介護給付費の12.5%、施設分につきましては17.5%の割合で県負担分として負担されたものでございます。項3 県補助金153万4,650円の収入につきましては、地域支援事業交付金でございます。

款6 繰入金、款7 繰越金につきましては、おおむね予算どおりの収入となっております。

また、款8 諸収入、項2 雑入で2,170万3,008円の歳入は、介護報酬返還金等でございます。

歳入合計は8億8,552万8,153円、予算現額に対しまして3,164万847円の減、前年度決算額に比較しまして193万4,719円の増となっております。

次に、歳出でございますが、351ページ、352ページをお願いいたします。

款1 総務費、項1 総務管理費につきましては、支出済額980万2,304円でございます。不用額135万5,696円ございますが、この不用額の主なものは、地域介護・福祉空間整備等交付金、グループホームひなたぼっこのスプリンクラー整備の減額でございます。それと、郵送料及び委託料の契約の差金として不用となったものでございます。項2 介護認定調査等費につきましては、支出済額790万2,703円で、不用額277万5,297円でございますが、この不用額の主なものは、役務費の通信運搬費、主治医の意見書料、それと認定調査委託料でございます。

款2 保険給付費につきましては、予算現額8億4,869万9,000円、支出済額は8億2,062万5,505円、前年度比7,326万7,077円の増額となっております。保険給付費全体の執行率96.69%でございます。おおむね予算どおりの執行となっております。

款3 地域支援事業費につきましては、支出済額623万7,049円で、執行率68.79%でございます。

款5 基金積立金及び款6 諸支出金につきましては、ほぼ予算どおりの執行となっております。

次のページ、お願いいたします。

歳出合計で、支出済額8億7,940万1,393円、予算現額に対しての全体の執行率は95.88%でございます。歳入総額から歳出総額を差し引きました612万6,760円は、翌年度に繰り越しとなるものでございます。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第59号について、保健福祉センター所長石塚 稔君。

〔保健福祉センター所長石塚 稔君登壇〕

保健福祉センター所長（石塚 稔君） それでは、議案第59号 平成21年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件につきまして補足してご説明申し上げます。

380ページ、381ページをお願いいたします。

初めに、歳入でございますが、款1サービス収入、項1介護給付費収入ですが、調定額、収入済額ともに346万7,220円となっております。これは、利根町地域包括支援センターにおける介護予防ケアプラン作成に基づく介護予防ケアマネジメント費収入でございます。

款2繰入金、項1一般会計繰入金105万2,000円及び款3繰越金、項1繰越金190万5,299円につきましても、調定額どおりの収入となっております。

歳入合計642万4,519円ございまして、予算現額769万2,000円に対しまして、83.5%の収入執行となっております。

次に、歳出でございますが、382ページ、383ページをお願いいたします。

款1サービス事業費、項1居宅介護予防支援事業費の予算現額578万6,000円に対しまして、支出済額266万4,260円、46.0%の執行率でございます。不用額312万1,740円の主なものにつきましては、臨時職員の雇用日数が少なかったことによる人件費支出の減と、委託料におきまして要支援者のケアプラン作成が予定より少なかったこと、及び委託によらず職員が自前で作成したことによる減でございます。

款2諸支出金、項1繰出金につきましては、予定どおりの執行となっております。

歳出合計につきましては456万9,559円で、予算現額に対して59.4%となっております。平成21年度利根町介護サービス事業特別会計の歳入総合計から歳出総合計を差し引きしました185万4,960円は、翌年度への繰越金となっております。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第60号について、保険年金課長矢口 功君。

〔保険年金課長兼国保診療所事務長矢口 功君登壇〕

保険年金課長兼国保診療所事務長（矢口 功君） それでは、議案第60号 平成21年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件につきまして補足してご説明申し上げます。

391ページ、392ページをお開き願いたいと思います。

初めに、概要につきまして申し上げます

平成21年度末の被保険者数でございますけれども、1,977人となっております。前年度と比較しまして67人の増でございます。内訳でございますが、75歳以上が1,857名、65歳以上75歳未満の障害認定者が120名となっております。

それでは、歳入につきましてご説明申し上げます。

款1後期高齢者医療保険料でございますが、収入済額は9,630万4,800円でございます。収納率は99.6%となっております。前年度と比較いたしますと389万3,400円の増でございます。率にしまして4.2%の増となっております。これは、被保険者からの特別徴

収及び普通徴収により徴収した保険料でございますが、このうち普通徴収分において増となっております。なお、収入未済額は37万600円となっております。

次に、款2 使用料及び手数料でございますが、収入済額が3万9,300円でございます。これは、督促手数料収入の増によるものでございます。

款3 繰入金でございます。収入済額が1億4,267万9,000円となっております。前年度と比較しますと1,385万1,000円の増、率にしまして10.8%の増でございます。これは、一般会計からの繰入金でございますが、後期高齢者に係る医療給付費等の伸び及び保険料軽減に伴います保険基盤安定分の増によるものでございます。

款4 繰越金でございます。収入済額は212万1,762円でございます。これは、前年度からの繰越金でございますが、この会計につきましては平成20年度からの.....なった会計でございますが、前年度と比較しますと皆増となっております。

款5 諸収入でございます。収入済額は112万2,817円でございます。前年度と比較しますと1万5,347円の減、率にしまして1.3%の減でございます。これは、雑入でございますが、広域連合からの後期高齢者にかかわる健診料収入等の減によるものでございます。

歳入合計の収入済額は2億4,226万7,679円でございます。前年度と比較しますと1,971万2,015円の増、率にしまして8.9%の増となっております。

次の393ページ、394ページをお願いいたします。

歳出につきましてご説明申し上げます。

款1 総務費につきましては、支出済額が1,027万5,785円となっております。前年度と比較しまして7万5,851円の減額、率にして0.7%の減でございますが、ほぼ前年並みとなっております。この支出科目の主なものにつきましては、一般事務経費、広域連合共通経費負担金等となっております。

次に、款2 後期高齢者医療広域連合納付金でございます。支出済額が2億2,854万3,294円でございますが、前年度と比較しますと1,860万8,026円の増額でございます。率にしまして8.9%の増となっております。こちらは、広域連合への納付金でございますが、被保険者の増及び療養給付費の増によるものでございます。

款3 諸支出金でございます。支出済額は236万2,962円でございますが、前年度と比較しますと236万2,962円の増でございますが、皆増でございます。これは、現年度の一般会計からの繰入金の精算に伴う繰出金でございます。

歳出合計の支出済額2億4,118万2,041円でございますが、前年度と比較しますと2,074万8,139円の増額、率にしまして9.4%の増でございます。執行率は99.2%でございます。

歳入総額から歳出総額を差し引きました108万5,638円につきましては、翌年度に繰り越すものでございます。

議長（若泉昌寿君） 次に、議案第61号について、水道課長福田 茂君。

〔水道課長福田 茂君登壇〕

水道課長（福田 茂君） それでは、議案第61号 平成21年度利根町水道事業会計決算認定の件につきまして補足してご説明申し上げます。

1 ページをお開き願います。

税込みでの決算報告書に基づきましてご説明いたします。

収益的収入及び支出の収入の部でございますが、第1款事業収益、予算額の合計が4億2,417万円、決算額が4億2,300万1,709円、これは前年度に比べまして0.2%の増となっております。

内訳でございますが、第1項の営業収益、予算額が4億1,425万5,000円、決算額が4億963万9,775円、主に給水収益でございます。

第2項の営業外収益、予算額が991万2,000円で、決算額が1,336万1,934円でございます。これは、その他の営業収益としまして10月分から下水道使用料徴収委託料が入ったため増となったものでございます。

第3項の特別利益につきましては、予算額が3,000円、決算額ゼロ円でございます。

次に、支出でございますが、第1款水道事業費用、予算額の合計が3億9,441万8,000円、決算額が3億4,451万5,994円、前年度に比べまして2.7%の増となっております。

内訳でございますが、第1項の営業費用、予算額が3億8,375万3,000円、決算額が3億3,486万851円でございます。主なものは、原水及び浄水費で県南広域水道の受水費でございます。

第2項の営業外費用でございますが、予算額が1,061万円、決算額が959万9,850円、主なものは消費税及び地方消費税納付金と企業債償還利息でございます。

第3項の特別損失につきましては、予算額が5万5,000円で、決算額が5万5,293円でございます。これは、平成15年度分の水道料金不納欠損処分でございます。

次のページお開き願います。

資本的収入及び支出の収入の部でございます。

第1款資本的収入が、予算額合計が390万円、決算額が378万円でございます。

内訳としまして、第1項の他会計負担金で、消火栓設置工事の一般会計からの負担金でございます。

次に、支出でございますが、第1款資本的支出の予算額合計が1億7,052万8,000円、決算額が1億448万1,039円。

内訳としまして、第1項の建設改良費、予算額が1億6,165万7,000円で、決算額が9,561万230円でございます。これは、配水管及び給水管等の布設替え工事費でございます。

第2項の企業債償還金でございますが、予算額が887万1,000円で、決算額が887万809円でございます。これは企業債償還金でございます。

以上の資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億70万1,039円は、当年度分消費税資本的収支調整額451万4,034円、過年度分損益勘定留保資金8,731万6,196円、それ

と減債積立金887万809円で補てんしてございます。

以上で、説明を終わります。

議長（若泉昌寿君） 説明が終わりました。

これから、本案の款、項に対する質疑を行います。

まず、議案第53号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

次に、議案第54号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

次に、議案第55号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

次に、議案第56号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

次に、議案第57号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

次に、議案第58号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

次に、議案第59号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

次に、議案第60号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

次に、議案第61号に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

お諮りいたします。

議案第53号 平成21年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件から議案第61号 平成21年度利根町水道事業会計決算認定の件までの9件については、議長及び議会選出監査委員を除く、議員全員を委員とする決算審査特別委員会を設置し、これに付託したいと思いません。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認め、決算審査特別委員会を設置し、付託することに決定いたしました。

休憩中に全員協議会室にて決算審査特別委員会を開催しますので、お集まりください。暫時休憩といたします。

午前 11時50分休憩

午後 零時01分開議

議長（若泉昌寿君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

ただいま休憩中に決算審査特別委員会が開催され、正副委員長の互選が行われました。

仮委員長から互選結果の報告を求めます。

仮委員長中野敬江司君。

〔仮委員長中野敬江司君登壇〕

仮委員長（中野敬江司君） それではご報告申し上げます。

決算審査特別委員会の委員長及び副委員長が決まりましたので、ご報告いたします。

決算審査特別委員会委員長には高木博文君、副委員長に会田瑞穂君とすることに決定いたしました。

以上で、ご報告を終わります。

議長（若泉昌寿君） 報告が終わりました。

ここで、正副委員長のあいさつをお願いいたします。

まず、決算審査特別委員会委員長高木博文君。

〔決算審査特別委員会委員長高木博文君登壇〕

決算審査特別委員会委員長（高木博文君） ただいま開催されました決算審査特別委員会で委員長に選任されました高木です。ふなれではございますけれども、住民の期待にこたえる決算審査ができるように努力をしたいと思います。ご協力よろしく願いいたします。

議長（若泉昌寿君） 次に、決算審査特別委員会副委員長会田瑞穂君。

〔決算審査特別委員会副委員長会田瑞穂君登壇〕

決算審査特別委員会副委員長（会田瑞穂君） ただいま決算特別副委員長に選任されました会田でございます。委員長を補佐し、皆さんの要望を受け入れながら進行できるように委員長を補佐していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

議長（若泉昌寿君） あいさつが終わりました。

決算審査特別委員会の日程は、お手元に配付の決算審査特別委員会日程のとおりです。十分なる審査の上、来る9月15日の本会議に審査結果を報告されるようお願いいたします。

議長（若泉昌寿君） 日程第13、休会の件を議題といたします。

お諮りいたします。

あす9月4日から9月5日までの2日間は、議案調査のため休会したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（若泉昌寿君） 異議なしと認めます。したがって、あす9月4日から9月5日までの2日間は議案調査のため休会とすることに決定いたしました。

議長（若泉昌寿君） 以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。
次回9月6日は午前10時から本会議を開きます。
本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。
午後零時05分散会